

東中だより



No. 1

文責：高橋 泰

いよいよ平成27年度がスタート！ ～新年度を迎えるにあたって～

4月7日、「天目山」桜の花びらが舞う中、入学式、始業式を迎えました。

桜だけでなく、ハナモモの紅白の花も少しずつ咲き始め、新入生や新しく最上級生になった3年生、これから東中の中堅を担っていくであろう2年生を、迎えてくれています。新入生190名を加えて全校生徒数は531名となり、いよいよ今年度のスタートです。



こんな学校にしたい！ ～平成27年度前期生徒会がめざすもの～

平成27年度を迎えるにあたって、3月24日(火)に前期生徒会が発足しました。その力強い生徒会執行部のメンバーは右の皆さんです。

前期生徒会のモットーは『チーム東中』です。「みんなの隣や後ろ、前に座っている子全員がチーム東中の仲間です。全校生徒がチーム東中として気持ちを一つにして生活していこう」と生徒会長から力強い呼びかけがありました。そして、「こんな学校にしたい!!」として、3つの姿「みんなが大好きな学校」「人の役に立てる学校」「過ごしやすく楽しい学校」が提案されました。そのために重点的に取り組んでいく5つの柱が、具体的に下記のように提案されました。

本校の校訓は「自修」です。自ら学び、考え、主体的に判断して行動することです。生徒会を中心にして、これからどのように手だてを工夫し、東中生全体にはたらきかけ、東中学校を変えていってくれるか楽しみにしています。

前期生徒会の皆さん

<会長>

深谷歩美 (3-5)

<役員>

古居尚季 (3-1)

小林達貴 (3-2)

廣江龍兵 (3-5)

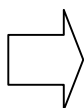
片山楓華 (3-2)

山田智恵美(3-3)

佐藤文香 (3-4)

こんな学校に !!

- みんなが大好きな学校
- 人の役に立てる学校
- 過ごしやすく、楽しい学校



そのための具体策 五つの柱

- 1 歌を大切に
- 2 あいさつ運動の自由化
- 3 エコキャップ運動
- 4 地域清掃 (校内清掃)
- 5 みそあじの強化

「歌を大切に」・・・歌で東中が1つになることです。部活動で応援歌を歌って気持ちを高めてチーム一丸となったように、多くの歌を通してチーム東中として団結力ある学校を作っていきましょう。

「あいさつ運動の自由化」・・・クラスごとに、都合のよい日に形態を工夫してあいさつ運動を行うことを考えています。自然な笑顔で爽やかなあいさつが交わされる学校を築いていきましょう。

「地域清掃」・・・まずは東中生が学校の周りの掃除をしていきましょう。そして、地域の人とも協力し、学校周辺、公園、公共施設なども含めて、地域ぐるみの清掃活動に広がっていきましょう。

「みそあじの強化」・・・前任の生徒会が掲げたキャッチコピーを前期生徒会も継承します。

『み』身なり ...こまかいことでも 爽やか東中生を広げよう

『そ』そうじ ...校舎もきれいに 心もピカピカに 思いを込めて

『あ』あいさつ ...いつでも どこでも だれとでも 何度でも

『じ』時間 ...ささいなことでも 時間厳守

本校がめざす生徒象 ～校訓「自修」をうけて～

本校の校訓は「自修」です。「自らきまりを守って行いを律すること」「自ら学び、考え、主体的に判断して行動すること」そして、「自分のとった行動に責任をもつこと」。こういった意味を込めています。

中学校での3年間は、「将来、社会の中でどう生きていくか」を学ぶ時であり、「社会の中で生き抜いていく力」を育むときです。

社会の中で生きていく上で必要なことは、「自分の仕事に責任をもち最後までやりきること」「社会の中で協調してふるまえること」だと思います。

そこで、そのために今年、生徒の皆さんに心がけてほしいことは以下の6つ。

- 「明るいあいさつができること」 「自己をふり返ること」
- 「悪いときには素直に謝れること」 「まわりに感謝できること」
- 「決めたことをやり切ろうとすること」 「責任を果たそうとすること」

1年後、一回り成長できた自分を実感できるようがんばりましょう。



よろしくお願ひします!!



～今年度転入した職員を紹介します～

教諭	鈴木加奈子	(南 中より)
教諭	園田麻衣子	(中央中より)
教諭	大河内 航	(新規採用)
養護教諭	大槌あずさ	(新規採用)
養護教諭	間瀬朱美子	(新川中より)
講師	上山 妥子	(新規採用)
スクールカウンセラー	井上 春奈	

4月6日に新任式を行い、新入生を迎える準備をしました。校歌の練習を行った際、生徒会執行部の強いリーダーシップのもと少しずつ気持ちの入った歌声に変わってきました。

今年も東中だよりを通して、学校の様子や生徒の活躍を紹介していきます。楽しみにしていてください。



一心一音 ～吹奏楽部スプリングコンサートより～

3月29日(日) 保護者や地域の方々を招き、吹奏楽部がスプリングコンサートを行いました。

250名ほどの方が聴きにきてくださいました。大きなあいさつやきびきびした所作で、来てくださった方々への心のこもったおもてなしが印象的でした。コンサートには、新川中学校吹奏楽部もゲスト出演し、楽しいステージを展開してくれました。ソロ演奏やアンサンブル演奏。そして、シンフォニック・ポップスステージ。一心一音の想いが十分に伝わってくる素晴らしいステージでした。聴きにきてくださった方から多くの激励のメッセージをいただきました。一部紹介します。

私の時代は先生は絶対でした。Yesと言うしかありませんでした。今は少々違うと思いますが、厳しくもなく、ただガラガラと、何も苦しくなく過ごしても何も得るものはありません。今は辛く悲しくても一生懸命取り組んだその結果は一生の宝物です。大人になり昔の部員が集まった時でも「あの時は辛かったなあ」とその時のことに話の花が咲きます。人は完全ではありません。たとえ先生でもです。愛情表現は甘いものだけではなく、時には厳しくもあります。それがわかるのは、ずーっと時が経ってからでしょうね。年のせいか、一生懸命の皆様の姿を見ていると涙が出てきます。頑張ってください。悔いのないように、未来の自分に。

ソロ・アンサンブルステージ。皆さん緊張の中、きれいな音色でした。難しい指使い、しっかり練習してきた様子がとてもよくわかりました。特に「3つのわらべうた」は知っている曲なのでわかりやすかったし、フルートのやわらかい高音や打楽器との調和がとてもきれいでした。

昨年度はたくさんの評価をいただいて、皆さんはあの夏を今年もと思っているかもしれませんが、皆さんは皆さんです。もっと強い気持ちを持って!! 榊原先生はとても素晴らしい先生です。皆さんのことをとても大切に考えています。だから、厳しいとか辛いとか言わないで! 大切だから厳しいんです。絶対みんななら大丈夫だよ。応援しています。